

おくま

● 広報



ママと一緒に

子育て支援センターでは、子育ての仲間づくりや子ども同士の出会いの場となるように、なかよし広場や子育て講座を開催しています。3月11日の子育て講座では、studioこぐまの本間かりんさんを講師に厚紙に毛糸を巻き付けてフォトフレームを製作しました。様々な活動をしていますので、お子さんと是非ご参加ください。

2021

4

No. 798

令和3年度 施政方針

小国町議会3月定例会が3月4日から12日まで開催され、令和3年度のまちづくり方針とその予算が決まりました。令和3年度一般会計予算は60億2800万円で、特別会計と企業会計を合わせた全会計予算総額は104億7318万9千円となりました。今月は施政方針と予算の概要を紹介します。

まちづくりの基本的考え方

令和3年度の予算編成にあたっては、地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の基軸である

1 白い森の国を担う「人」づくり

2 白い森の魅力を磨く

「環境」づくり

3 白い森を舞台とする活き活きとした

「暮らし」づくり

4 持続可能な行財政運営

の4つの柱に、沿って施策を展開することとし、施策の構築にあたっては、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点で精査し、限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成をしました。

▼ 白い森の国を担う「人」づくり ▲

■保育料の無償化

町独自に実施している、3歳から5歳児までの保育料を完全無償化するとともに、0歳から2歳児の食事料相当分を減額し、保護者の負担軽減を図ります。なお、引き続き、0歳から2歳児の保育料は第2子の場合は半額、第3子の場合は無料とします。

■保小中高一貫教育の推進

保育園から高校までの15年間で系統的、連続的に学習を積み上げ、地域に根ざし、国際社会や情報化社会に順応した力を育て、児童生徒一人ひとりの力をより大きく伸ばす教育を展開します。

■必要とされる支援体制を

学習支援員や保小連携コーディネーター等の人的体制を整備し、質の高い教育環境を確保するとともに、教育相談員の配置や、臨床心理士によるスクールカウンセリングを開催し、各種支援を必要とする児童生徒及び保護者に対し、

きめ細やかに対応します。

■ICT教育で学びの充実化

ICT（情報通信技術）教育の推進に向け、児童生徒ひとり1台のタブレット端末を整備しましたので、新学習指導要領で定める「主体的・対話的で深い学び」の実現と「情報活用能力の育成」、「プログラミング教育」の充実を図ります。

■地域留学が本格始動

内閣府の採択を受け取り組んでいる「高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業」の成果として、本年度、同校では1年間の地域留学生5人（2年生男子3人・女子2人）を県外から受け入れることとなりました。留学生保護者の負担軽減を図るため、生活費の一部を支援します。また、同校では、令和4年度から、全国から入学生の受入を開始する予定になっております。町は、側面支援策として、一般財団法人地域・教

育魅力化プラットフォームと連携し、生徒募集に向けた情報発信を行うとともに、魅力化コーディネーターを配置し、地域と学校が交流を通して挑戦する力や地域に貢献する力を養い、地域を担う人材づくりを推進します。

■ワカモノプロジェクト継続

昨年度から開催している、町内の若者と町と関わりのある協働人口による人財育成講座「小国☆地域みらい塾」を継続し、町民のまちづくりへの積極的な参画を促していきます。

■移住定住の促進

都市に住む若者を中心に「田園回帰」の意識が高まっていることから、首都圏での移住イベントへの開催や、ホームページ、SNSなどを用いて町や町内企業の情報発信に取り組み、移住、定住を促す施策を総合的に展開し、移住者の増加、企業の人材確保を図ります。また、移住されるかたで、新規に就労されるかた、子育て中の世帯、小国高校へ就学される世帯及び東京23区から移住されるかたにそれぞれ転居費用の一部を助成するほか、町内において結婚による新生活を営まれる世帯を支援します。

■移住者受け入れ環境の整備

小国らしい暮らし方、働き方について、8つのマルチワークモデルを構築し、働くかたの住宅環境や受入組織の構築を検討してきました。本年度は、地域おこし協力隊として活動してきた若者が受入組織として「特定地域づくり事業協同組合」の設立を目指していますので、これを支援するとともに、人材募集及び短期・中期的なマル



▲小国☆地域みらい塾でまちづくりを提案

チワークの体験ツアーを実施しながら、マルチワークの確保と移住、定住の促進を図ります。(マルチワークは時間や季節ごとに様々な仕事を組み合わせる働き方)

■次期総合センター予備調査へ

次期総合センターの整備については、平成27年度に整備構想を、28年度に整備基本計画、29年度に基本設計をそれぞれ取りまとめ、昨年度は、建設候補地の規模や形状、交通や周辺環境、防災・災害対策等を総合的に勘案した土地利用計画の策定作業を進めてきました。



▲コロナ禍によりオンライン移住相談を実施

た。本年度は、広く町民各層の声に耳を傾けながら、建設場所の確定や実施設計に向けた予備調査を行います。

▼白い森の魅力を磨く「環境」づくり▲

■有害鳥獣被害対策

鳥獣被害対策実施隊による二本ザルやイノシシの捕獲を行うとともに、電気柵の設置費や狩猟免許取得費を助成し、農作物被害の軽減と田畑を保全していく対策を支援します。また、モデル地区を選定し、講習会の開催や有害鳥獣の進入路となる里山を刈り払う緩衝帯の整備など、地域ぐるみで鳥

獣被害対策を実施し効果を検証します。

■地域防災計画の見直し

国土強靱化基本法に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」への対応として、町土の強靱化対策に資する「国土強靱化地域計画」を策定します。また、小国町地域防災計画について

て、国のガイドラインや山形県地域防災計画などの改正内容を反映した計画に見直します。

■新山道の建設促進

新潟山形南部連絡道路の整備については、「小国道路」が事業化され、路線測量、地盤調査、道路設計が実施されるなど大きく前進しました。今後も建設促進期成同盟会を中心に、関係機関団体と連携し、事業促進に向けて活動を展開します。加えて、「小国道路」における町内アクセス道路の整備に向けた町独自の要望活動も進めます。

■効率的な町営バスの運行

公共交通の確保として、町営バス車両の1台をマイクロバスからワゴンタイプに更新し効率化を図るほか、町営バス4路線、デマンドタクシー3路線の運行管理を継続します。なお、運行にあたっては、より利便性の高いダイヤ編成の見直しを行います。また、北部地区振興協議会が通年運行している、空白地運送の運営費を継続して支援します。

■置賜一丸で観光推進

本町の観光施策を一層強化するため、置賜地域での観光地域づくりを展開している「やまがたアルカディア観光局」に参画し、近隣市町と一体となった観光情報の発信や町内の受入体制の整備などを行い、地域の魅力づくりと交流人口の拡大を推進します。

■SDGsの推進

SDGs(エスディーズ)(持続可能な開発目標)の推進に向け、町民や職員を対象とする研修会を開催しながら、SDGs未来都市のエントリーに向けた取り組みを展開します。



▲鳥獣被害対策実施隊による猿の追い払い

▼白い森を舞台とする

活き活きとした「暮らし」づくり

■まるごとブランド構想の推進

白い森まるごとブランド構想の実現に向け、コロナ禍に配慮しながら首都圏を中心とした交流事業を開催するとともに、食や健康環境を切り口として、都市と地方の住民がともに学ぶ事業や積極的なプロモーションを展開し、「白い森おぐに」の認知度向上と関係人口の創出に取り組みます。また、

白い森まるごと塾を継続し、稼働力の醸成、白い森ブランドとなる

商品やサービスに磨きを掛けるとともに、白い森ビジネス創出塾を発展させ、これまでのビジネスプランの事業化に向けた取り組みの支援や、町内事業者が地域外の事業者等とともに新たなビジネスプランを構築するための場を創出し、地域経済の好循環を目指します。

■農業の担い手育成

高齢化に伴う農業者の離農などにより、担い手不足、耕作放棄地の増加対策が喫緊の課題であることから、農業次世代人材投資事業費補助金、町独自の創農チャレンジ給付金を交付し、経営の不安定な就農初期段階の経営安定化を支援し、農業の担い手育成に取り組みます。

■水稻農家の受給調整支援

小国町地域農業再生協議会を通して、水稻生産農家の水稻作付けの需給調整を支援するとともに、転作地における山菜、飼料作物など振興作

物の作付面積拡大を支援します。

■井の下頭首工改修

若山地内の井の下頭首工は、経年劣化により機能低下が生じており、山形県の事業として本年度から4カ年計画で改修工事を実施することとなりましたので、事業費の一部を負担します。

■長期的な森林づくり

地域森林計画の対象となる民有林について、森林施業の標準的な方法及び森林の保護の規範、路網整備の考え方を定める長期的な視点に立った森林づくりのマスタープランである森林整備計画を策定します。

■野生キノコ出荷自粛解除に向け

野生キノコの出荷自粛解除に向け、残るマイタケなど8品目についても、引き続き検体採取に努め、国や県に対して、一日も早い解除を働きかけます。

■道の駅周辺の賑わいづくり

道の駅白い森おぐにの公園緑地

化を継続し、本年度は、下段斜面に白い森ロゴマークをあしらった花の植栽地を整備します。今後も、来訪者のみならず町民も足を運びたくなる施設を目指し、ソフト、ハードの両面が一体となった魅力づくりを展開します。また、多彩なイベントを開催し、道の駅を中心に四季を通した賑わいづくりを創出します。

■新潟・仙台にアンテナショップ

株式会社小国町地域総合商社では、新潟市と仙台市でアンテナショップを試験的に開設し、町の特産品の販売や情報発信を行うとともに、両地方拠点都市からの誘客を含めた交流ツアーを展開することとなりましたので、その取り組みを支援します。

■新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスのワクチン接種について、本年度、本町では65歳以上の高齢者の2回目（1回目は令和2年度予算に計上）と65歳未満のかたに対する2回分の接種を行います。なお、接種時期に



▲白い森まるごと塾
地域ブランドの磨き方を学びます

特集 令和3年度施政方針および予算

令和3年度の主な事業

白い森の国を担う「人」づくり

保小中高一貫教育支援事業	3,785万2千円
ICT活用推進事業	2,867万2千円
高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業	1,000万6千円
ワカモノプロジェクト推進事業	802万5千円
移住定住促進事業	1,571万7千円
次期総合センター建設事業	2,021万8千円
妊婦出産支援事業	480万3千円
子育て支援センター運営事業	740万6千円
福祉医療給付事業	4,363万8千円
学校・家庭・地域の連携協働推進事業	761万8千円
地域づくり支援員導入事業	946万円
地域資源活用域学連携事業	167万円

白い森の魅力を磨く「環境」づくり

有害鳥獣被害対策事業	466万1千円
公共交通運行事業	4,208万4千円
やまがたアルカディア観光推進事業	2,405万5千円
SDGs推進事業	90万円
町道長者原内川線道路整備事業	2,769万5千円
除雪事業	2億2,769万5千円
除雪機械購入事業	4,957万2千円
小国の住宅総合支援事業	1,770万円
町道橋補修事業	1億1,500万円
防災計画更新事業	358万6千円
高齢者等暮らし応援事業	905万4千円
灯油購入費助成事業	210万円
町民総合体育館改修事業	1億8,270万円

白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり

白い森みらい創生事業	3,180万4千円
農業 担い手育成事業	367万円
需給調整推進事業	671万7千円
町有林造林事業	1,564万3千円
野生きのこ出荷自粛対策事業	79万2千円
道の駅機能拡充事業	2,782万8千円
横根スキー場維持管理事業	2,468万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3,319万7千円
健康増進事業	876万2千円
人工透析患者送迎事業	2,357万4千円
障害者自立支援給付事業	1億4,661万4千円
地域企業等人材確保支援事業	123万2千円
歴史民俗資料館整備事業	17万5千円

持続可能な行財政運営

職員研修事業	867万3千円
ふるさと納税事業	1億6,186万8千円
衆議院議員総選挙執行事業	575万4千円

については、ワクチンが配布され、町内での接種体制が整い次第、65歳以上の高齢者から接種を開始する計画です。

■安定的な病院経営

町立病院の経営については、人口減少による受診者の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えなどから、厳しい状況が続いています。しかしながら、町民の命と健康を守る一次医療機関として、責任のある医療の提供と安定的な運営に向け、

病院機能の在り方や経営健全化に向けた調査を実施します。

■高齢者が住みやすい町に

昨年度、高齢者保健福祉計画・

第8期介護保険事業計画を策定しました。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるよう計画に沿った事業を展開します。また、町内では、介護サービスを担う人材が不足していますので、町内在住者の介護技術の習得を促進するため、社会福祉協議会と連携し、介



▲まちかど医療相談室
(ショッピングセンターアスモ)

護職員初任者研修を行います。なお、同研修を小国高校生、移住者が受講する場合は15万円、その他

のかたは8万円の受講料を支援します。さらに、介護福祉士の資格取得の際に必要な実務者研修の受講料を支援します。

■人工透析患者の送迎と負担軽減

町外に通院している人工透析患者の送迎事業に取り組むとともに、送迎事業を利用されないかたへの交通費を助成し、引き続き、身体的・経済的負担を軽減します。

■障害者の自立支援

障がいを持つかたが、安心して

特集 令和3年度施政方針および予算

外国人実習生の母国に情報発信
町内企業に就職した新社会人を対象とした就職お祝い会を継続して開催し、町内企業の雇用の安定と定住促進を図ります。また、町で働く外国人技能実習生の交流の場を設けるとともに、観光パンフレットを母国語に翻訳していただき、ホームページに掲載しながら、外国人技能実習生の母国に情報を

自立した日常生活や社会生活が送られるよう、障がいの程度や状況に応じて、移動支援や活動支援補装具の給付を行うほか、特別支援学校及び作業所への通学、通所を支援します。



▲新社会人にお祝い金を交付

発信します。

■歴史民俗資料活用

閉校校舎に保管している学校郷土資料や、白い森暮らしの資料館

等に収蔵している歴史民俗資料を後世に伝えるとともに、子どもたちの郷土学習等への活用を図るため、収蔵資料に応じた保管方法や展示、活用計画を策定します。

■過疎地域自立促進計画策定

2025年を目標年次とする第5次小国町総合計画に掲げる重点プロジェクトの計画的、効果的な事業展開を図るため、第2期地域創生総合戦略と一体的に事業を展開します。また、過疎地域自立促進特別措置法の新たな制定に向けて検討が進められております。本町の過疎地域自立促進計画についても、新たな過疎法の施行に合わせ策定します。

■ふるさと納税の効果的な活用

ふるさと納税については、コロナ禍の中ですが、昨年度は1億4千万円を超える寄附が寄せられております。町を応援する多様な人々の思いが反映された施策を推進するため、これを原資とす

▼持続可能な行財政運営▲



▲横根スキー場維持管理費の一部にも白い森ふるさと応援基金を活用

る「白い森ふるさと応援基金」を積み増しし、各種の地域活性化に資する事業に活用します。

■万全な選挙管理体制の保持

任期満了に伴う衆議院議員総選挙が予定されていますので、万全な選挙管理体制を保持するとともに、必要な執行経費を確保しました。

▼むすびに▲

Withコロナ時代。すなわち、新型コロナウイルスと共存が必要となった現在、ニューノーマル（新しい常態）を意識した行動が求められる、従来の生活様式や働き方を変えていく必要があります。こうした「転換期」が過去に2度あったといわれています。

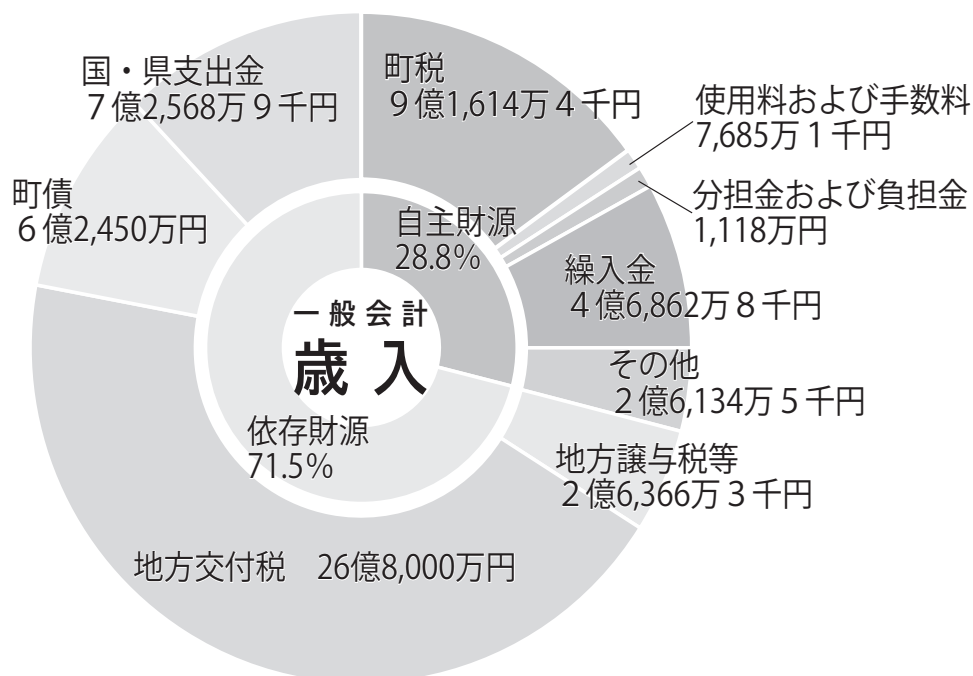
1つ目の転換期は1990年代における「インターネット社会の到来」であり、2つ目は2008年の「リーマンショック」です。私たちはその時々の変容を巧みに受け入れて対応してきました。3つ目の転換期となった今、その経験と知恵を生かしながら、「意識を変える」、「行動を変える」、「生活を変える」、「働き方を変える」。その歩みを進める年として、町民の皆さんとともに「新しい常態の安心」を作り上げていくために全力を尽くしてまいります。

※施政方針の全文については、町ホームページでご覧になることができます。

令和3年度予算

一般会計予算 60億2,800万円

昨年度から300万円減額



令和3年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は60億2,800万円。昨年度より300万円減少しました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた町予算の総額は、104億7,318万9千円。昨年度に比べ4,290万9千円(0.4%)の増額となりました。

【令和3年度各会計予算】

■一般会計	60億2,800万円	(▲0.05%)
■特別会計		
簡易水道事業	3,363万円	(8.3%)
国民健康保険事業	6億8,518万円	(▲2.7%)
部落有財産	1億87万円	(▲5.8%)
下水道事業	3億6,651万円	(▲1.6%)
訪問看護	8,490万円	(2.6%)
介護保険	10億9,548万円	(5.0%)
後期高齢者医療	1億1,066万円	(▲0.5%)

■企業会計		
病院事業	12億4,752万円	(▲1.0%)
老人保健施設事業	3億9,062万8千円	(▲2.6%)
水道事業	1億8,253万9千円	(24.6%)
工業用水道事業	1億4,727万2千円	(5.3%)

令和3年度各会計予算総額

104億7,318万円9千円

(前年度比0.4%増)

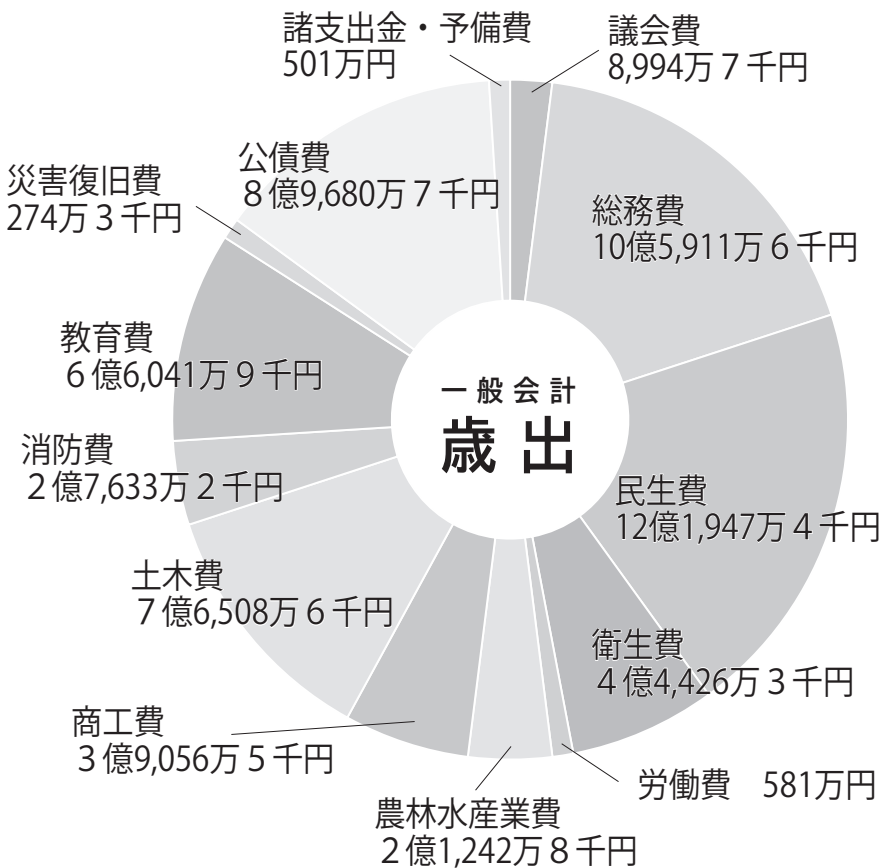
特集 令和3年度施政方針および予算

新年度予算概要

令和3年度一般会計予算総額は60億2800万円で横根スキー場リフト改修事業は終了したものの、次期総合センター建設事業などにより前年度ほぼ横ばいとなり、300万円の減となりました。歳入では、町税全体において新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町内経済が停滞基調にあることから、全体的な減額を見込みました。国から交付される地方交付税は前年度比0.6%増となっています。また、町債は前年度比2.2%減、国庫支出金は前年度比1.4%減、県支出金は前年度比3.3%減となっています。

歳出では、総務費においてふるさと納税の減少したことにより返礼品に要する経費等の減により前年度比6.7%の減、衛生費は、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保

事業により前年度比9.8%の増となっています。また、商工費では新規雇用が見込まれる、新規電池材料事業に取り組む日本重化学工業(株)小国事業所へ支援する環境型雇用創出産業立地推進事業や置賜地域で観光地づくりを展開している「やまがたアルカディア観光局」に加入した経費等



語句の説明

【歳入】

- 町税 住民の皆さんや法人などに納めていただく税金（町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など）
- 地方交付税 市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税（所得税・酒税・消費税など）として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの
- 町債 町の借入金（借金）
- 国・県支出金 市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

【歳出】

- 総務費 行政事務などに関する経費
- 民生費 障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費
- 衛生費 生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 農林水産業費 農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに関する経費
- 商工費 商工業や観光振興のための経費
- 土木費 道路や河川を整備・管理するための経費
- 教育費 教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費
- 公債費 事業を行うため借りた町債の元金・利息などを支払う経費



黒沢峠敷石道保存会主催・教育委員会共催 黒沢峠茶屋跡測量調査報告会

3月14日、おぐに開発総合センターで黒沢峠茶屋跡測量調査報告会「黒沢峠に茶屋があった頃」が開催されました。講師は東北芸術工科大学歴史遺産学科の北野博司教授で、昨年9月にゼミ生や保存会の方々と一緒に行った茶屋跡（古屋敷）の測量調査の結果を報告してくださいました。北野教授によると、建物の構造や付随物の痕跡から古屋敷が単なる一時的な茶屋ではなく、生活の場であったことが推察されるとのこと。参加者は、敷石道だけでない黒沢峠の歴史的価値について学ぶことができました。



ハタラトーク！ 小国高生が若手社会人と本音トーク



働くことや休日の過ごし方などを町内の企業に勤める若手社会人（17人参加）と小国高校生が話すことで、高校生が実際に働く姿をイメージして、これからの人生を改めて考える機会をつくり、進路に繋げていくことを目的とした「ハタラトーク！」（主催：小国町教育委員会）が3月18日に小国高校で行われました。参加した生徒は「自分の考えはその時その時で変わっていくものなので、興味をもったものには、積極的に挑戦したり、深く学ぶようにしたいと思いました。」と話してくださいました。

雪の森のようちえん 思い思いに雪のおひな様を製作

NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（吉田岳理事長）による雪の森のようちえんが2月23日に水源の郷交流館周辺で行われ、雪の中に埋められたお菓子を探し出すお宝さがしやそり滑り、雪を利用したひな壇づくりをしました。雪を固めて階段状にしたものに、色をつけてひな壇をつくり、参加者各自が思い思いの雪だるまに枝や葉っぱで装飾したひな人形を飾りつけ、楽しんでいました。



▲雪で作ったおひな様の前でにっこり

森の楽校 マタギとアニマル・トラッキング



2月28日、白い森交流センターりふれ周辺を会場として、「森の楽校」（小国町地域教育力・体験活動推進協議会と教育委員会が主催、NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊共催）が開催されました。当日は、地元のマタギのかたがたが先生となり、子どもたちに動物の足跡の見分け方や生態について解説が行われました。また、わらび山を登った後、帰りはけっつ滑りにも挑戦。晴れ渡る青空の下、密を避け、小国の大自然を堪能しました。

協力隊活動報告会

1年間の成果を堂々発表

今年度小国町では、緑のふるさと協力隊の中原凌さん、地域おこし協力隊の吉田悠斗さん（農業振興）、岩井拓磨さん（集落支援）、本間かりんさん（studioこぐま代表）、阿部宜行さん（高校魅力化コーディネーター）が協力隊として活動しています。2月24日にショッピングセンターアスモで活動報告会が行われ、1年間取り組んだ成果を発表しました。今年度の報告会は、コロナ感染症対策のため入場者を限定して開催しましたが、町のHPで公開しておりますので、興味のあるかたは、この機会にぜひご覧ください。

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式
はじめての自分専用の絵本ラック

小さいころから町内産木材と触れ合うことで木工製品や地元への愛着を深めてもらいたいと、3月21日、にファーストファニチャー贈呈式が行われました。贈呈した家具は「Book man（ブックマン）」で、ロボットの形をした絵本ラックです。22人の子どもたちが参加し、町長から家具を手渡されました。受け取った後には、自分で選んだ目を入れる作業を行い、自分だけの絵本ラックを喜んで持ち帰りました。

「シェアハウス始めました そして協力隊を卒業します」 地域おこし協力隊 よしだ ゆうと 吉田 悠斗

協力隊通信

series 60

任期満了に伴い今年の5月で、協力隊を卒業することになりました。任期後も町に残ることを決め、仕事のひとつとして始めたのがこのシェアハウスです。大宮子易両神社の敷地内にある一軒家をお借りし、民泊の許可も取りました。もう既に多くの人が集まる場所になってきていて、今は山形大学の4年生が住んでいます。町内外問わず引き続き住人を募集していますので、興味のあるかたはお気軽にご連絡下さい。さて、これまでお世話になったかたがた、本当にありがとうございました。私にとって小国町は故郷と呼べるかけがえのない場所となりました。四季がはっきりとしていて、マタギから先端産業まであるこの魅力ある町を好きになってくれる人はまだまだいます。町外から人を呼び込み、町を活性化できるような活動をこれからの仕事にしていけたらと思っていますので宜しくお願いします。



▲シェアハウスでたこ焼きパーティー

地域の学び舎、冬季分校

⑪ 中野

白太郎山や足駄山など、朝日連峰南端の祝瓶山から連なる山々に端を発する石滝川は、大字五味沢の出戸集落で荒川本流と合います。かつて、この

出戸に開かれていた五味沢小学校。昭和46年（新校舎完成は翌年）、統合校として北部小学校が誕生するまでは、驚集落より上流にある集落の児童たちが集う当地区の中心校でした。

そのような広い校区を有す五味沢小学校にも、冬季分校が2箇所設けられていました。その一つが、『広報おぐに』2020年8月号で紹介した樋倉の冬季分校。そして、もう一つが、石滝川の一番上流側に位置する中野集落に設置されていました。『北部小・中学校閉校記念誌あらかわ』（平成25年発行）によると、中野冬季分校は

20年ほど前の平成10年度まで開設されていたようです。

この中野冬季分校と樋倉冬季分校、さらには入折戸冬季分校と、北部地区にあった三つの冬季分校で、あわせて20年以上教員を勤めたという小股の伊藤一義さん（昭和18年生まれ）。とくに中野冬季分校は、その大半を過ごした思い出深い分校です。高校を卒業した翌年の冬から、そこで冬期間限定の教員生活を送ることとなりました。

「中野冬季分校は先生一人だったな。ただ、どういうわけなんだか私の場合、必ずいない学年があつてよ、5学年しか持ったことがないんだ。それでも一番多いときで15人いてあつた。教室が狭いもんだから大変だったな。」

中野では学校に泊まつてた。

炊事は自分でするわけだけども風呂はなくて、周りの家にもらいに行つたな。順番決めてよ、何曜日はこの家つて。今みたいにガスとか何かが学校にあるわけでなく、炊事は全部、教室の薪ストーブですてたな。子どもたちが帰つたあと、そこでご飯作つて。ただ、おかずなんかはよく隣の母ちゃんの世話になつたな。『これ、ようけ作つたからけ（食）え』なんて。あと、ウサギ捕まえたから食べに來いって、『今晚はオレの家に風呂入りに來い』って呼ばれることもなんかあつたな。』そう懐かしそうに伊藤さんは話します。

金目集落や徳網・樋倉集落と同じように、ここもまた狩猟の盛んな地域でした。

「最初、中野冬季分校は12月から4月末までだったんだ。ただ、4月になってくると春休みはあるし、いろいろ学校行事があつて本校に子どもを連れてこねばなんねえから、そのうち4月の早いうちに止めるようになったんだな。」

それで毎年、最後に閉校式を4月初めにしてただけど、その頃になると、クマ捕りが始まるべ。閉校式には必ず初物をご馳走になつたな。

あの頃、学校に泊まつてると、夜遅く、ランプつけて、人が（学校前の）雪の斜面下りてくるのが見えるんだ。クマ捕りで夜遅くに帰ってくるんだべな、金目川から越えて来て。『ああ、あそこまで帰つて来たな』って分かるんだ。』と、伊藤さんは教えてくれます。

集落の周りに広がる自然は、地域の暮らしを支え、そして子どもたちを大らかに育んでいました。『晴れてる日はスキーよくやつた。学校裏にスキー場つていうか滑るのに良いところあつて、そこで遊んだり。あと、堅雪になるとな、山の上まで眺めに行つた。』

（教室は）日当たりのいい部屋だったもんだからよ、春先になつてくると、ストーブ止めても暑くていらねえことがあつたんだ。そうすると、やっぱり子どもだから表さ行きたいって言



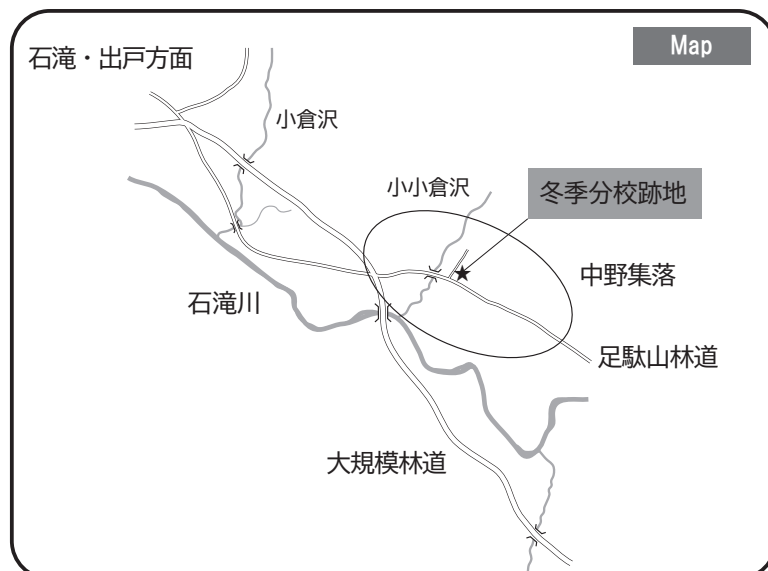
▲中野冬季分校（昭和32年11月）

玄関入ってすぐのところに横長の体育室があり、その奥に教室一部屋と、宿直室などがあった。伊藤さんが勤めた当時、雪が多い年は学校前の積雪量が4mを超えることもあったと言う。また、吹雪がすごいときは、中学生も五味沢中学校（出戸）まで行けず、この校舎の宿直室で自習し、休み時間になると小学生たちと一緒に遊んでいたそうである。（写真＝小国町役場所蔵）

い出してな。マンサク取ってみたい、コブシのつぼみ大きくなってきたのを見たり。今（3月）時分になってくると、木（薪）切りをお父さんたちみんなでするもんでよ。そこに弁当たがって見学に連れて行ったりもしたな。」と、伊藤さんは言います。

そんな元氣いっぱいの子供たちが集う冬季分校は、地域の大人たちにとっても「希望」の満ちたゆしみの場でした。
「子どももだけど、やつぱり一番（冬季分校を）楽しみにしてるのは地元爺ちゃん、婆ちゃんだごてな。『分校始まって、

い（良）かったな』って。どこかの地区さ行っても爺ちゃん、婆ちゃんが喜んで、よく遊びに来てくれたんだな。『今日はひな祭りだから来てくれよ』とか、『クリスマスすつから来てくれよ』とか言うて、喜んで、お茶菓子たがって来てくれた。逆に、『昔話教えるから子ども連れて来い』なんて言うてくれる婆ちゃんもいたな。入折戸（冬季）分校の隣にいた婆ちゃんだけど、昔話好きで、上手な人だよ。子どもらと行ったら喜んでくれたな。」と、伊藤さん。



くありません。しかし、人びとは、周りの豊かな自然を利用してたくましく暮らしてきました。そして、互いに協力し、大切な地域の学び舎を支え、児童はもちろん、若い教員たちをもあたたかく、大らかに育てていたのです。そのような地域の力と、それらを支えていた想いを今一度見つめ直し、未来へと伝えていきたいものです。

令和3年第3回 小国町議会定例会

令和3年第3回定例会が3月4日から12日に開催されました。令和2年度一般会計補正予算や令和3年度各会計予算、条例改正などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

令和2年度一般会計に

1億4080万7千円を追加

一般会計では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減収に対する、町立病院及び老人保健施設への負担金を追加するほか、道路除排雪に要する経費、県執行事業の主要地方道玉川沼沢線道路改良に係る負担金等を追加するとともに、決算見込みに基づく不要額の減額を行いました。補正額は1億4080万7千円の増額となり、補正後の予算総額は80億9465万円となりました。

■ふるさと納税の寄附見込額に基づき、白い森ふるさと応援基金に原資を積み増しすることとしました。

■障害者自立支援給付について、障害福祉サービス支給管理システムの改修に要する経費を追加しました。

■令和5年3月末で閉園するおぐに保育園から民間保育施設に転園する際に生じる、園児服等の購入費を支援することとし、所要額を措置しました。

■町立病院で借り入れる予定であった減収対策債1億5千万円の借入基準が確定し、再算定の結果、約7千万円が減額となったため、不足相当額を負担することとしました。

■町道の維持補修では、今冬の豪雪により道路舗装の損壊や構造物の破損等によって維持管理費が増大したほか排雪経費に不足額が見込まれるため、所要額を措置しました。

■小中学校において、感染防止対策に用いる消耗品及び備品を追加購入する経費を措置しました。また小国小学校の駐車場内に設置している防犯カメラを見守る児童の安全確保のため、児童昇降口と職員玄関に移設することと

し、所要額を措置しました。

小国町議会議員及び小国町長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の設定について

町村の選挙における立候補に係る環境の改善を図ることを目的とする改正公職選挙法が令和2年12月に施行され、選挙公営の対象が拡大されたことに伴い、公費負担の上限等を規定するための条例を新たに設定しました。

第14次小国町町有林森林経営計画を定めることについて

町有林の経営について、昭和31年に制定した小国町町有林野条例の規定に基づき5年1期の森林経営計画を策定してきました。このたび、平成28年に策定した第13次計画の期間が終了するため、令和3年度から5年間の第14次計画を策定し、2月9日に小国町農林業振興協議会にて了承されました。同計画では、町有林の有する多面的機能を高度に発揮させるための合理的な

森林施業を実施し、森林資源の活用を図るよう努めていくこととしています。

固定資産税課税台帳の閲覧 土地家屋価格等帳簿の縦覧

令和3年度固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。この機会に所有する資産をご確認ください。

- 期間（土日祝除く） 4月1日(木)～5月31日(月)
- 受付時間 8時30分～17時15分
- 場 所 小国町役場 町民税務課
- 問合先 町民税務課税政管理室（☎62-2403）へ

阿部吉弘院長先生30年間、ありがとうございました！

小国町立病院の阿部吉弘院長先生が3月31日をもって退任されました。阿部院長先生は、平成3年4月に山形大学医学部附属病院から当院へ院長として赴任され、平成4年には訪問看護室を、平成5年には在宅介護支援センターを開設しました。その後、平成11年に医療・保健・福祉・介護を一元化した地域包括医療ケアの拠点施設である町立病院が完成、翌年に温身の郷が開所し、地域包括ケアタウン「癒しの園」の形成をけん引され、小国町の地域医療の発展に多大なる貢献をされました。

3月19日に健康管理センターで、退職記念講演会が開催されました。阿部院長先生は「医者には、誰にでも忘れられない患者さんがいます。在宅看護のない時代、若くして寝たきり状態になったかたが



▲退職記念講演会での様子

退院され、高校生の娘さんから「お父さんが家にいるっていいな」と言われました。在宅で看護ができれば、病院ではできない、家族との大切な時間を過ごすことができることに気づきました。私は、これをきっかけに地域包括医療・ケアの重要性を認識し、積極的に行動することになりました。」と話されました。

最後に「病院に健康以外のことも気軽に相談ができるような行政と病院の連携が上手くとれる町になってほしい」とエールをいただきました。町は、今後も阿部院長先生の築かれた地域包括医療の取り組みに尽力していきます。

令和3年度小国町住宅リフォーム 総合支援事業費補助金について



制度が大幅に変わりましたのでご注意ください。

■補助要件 ①「新・生活様式対応」、「減災・部分補強」、「寒さ対策・断熱化」、「バリアフリー化」、「克雪化」、「県産木材使用」のいずれか1つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと。②町内に住所を有するかたで、自身が町内に所有する住宅等にかかる工事であること。③工事施工にあたり、県内業者と請負契約を締結すること。④工事に要する費用が10万円以上であること。⑤令和4年1月末までに完了する工事であること。⑥町税等に滞納がないこと。⑦申請前に工事を着工していないこと。

■補助金額 ◎一般世帯：リフォーム工事費の10%（上限12万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の20%（上限24万円）。◎一定の条件を満たす「新婚」、「移住」、「子育て」世帯等：リフォーム工事費の15%（上限15万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の30%（上限30万円）

■申込み 補助金交付申請書に必要な書類を添えて、地域整備課に提出してください。申請書は地域整備課にあります。

■募集開始 4月15日(木)～

■その他 受付は申請順で、町の予算の範囲内で助成します。

■問合先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

加藤春雄氏から 学校用教材が寄贈されました

学校運営協議会委員や各学校での読み聞かせ活動等にもご尽力いただいた、故加藤美恵子さんの夫で学校サポーターの加藤春雄さんから、町内の各小中学校に学校用備品や文庫が寄贈されました。3月15日におぐに開発総合センターで各小中学校長に目録が手渡され、加藤さんは、「妻は、読み聞かせ活動等を通しての子供たちや先生との関わりをととても楽しみにしていました。お世話になったお礼として寄贈します。ありがとうございました。」と述べられました。



3月19日(金)に開催した白い森
まるごと塾の終了後、今年度の
ビジネスプランコンテストで受
賞したプランの、その後の取り
組み状況について発表してい
たきました。優秀賞を受賞した
麵屋雪国の村田篤則さんからは、
辛みその商品化について、発表
いただきました。元祖、激辛、
旨辛と辛さを3段階にした「辛
みそ3兄弟」として発売予定で、
デザインにも村田さんの想いが
込められています。道の駅など
のほかネットショップピングも視
野に販売を計画。材料には小国
町農業振興公社のおぐに味噌、
地酒桜川を使用しており、小国
町のPRにも一役買いたいと意
気込みをお話いただきました。



▲麵屋雪国から販売を予定している
「辛みそ3兄弟」

白い森おぐにビジネスプランコンテスト受賞プランの取り組みがすすんでいます！

最優秀賞の井上昌樹さんから、新たな事業化を目指し、一般社団法人YOKAMOSを設立したことが報告されました。YOKAMOSは、郷土料理をアレンジした商品開発や酒蔵を活用したワーキングスペース・宿泊施設の運営などを通して、発酵の力で世を醸すことを目的としています。今回は、以前のまるごと塾でも講師をお願いした新潟市のSUZUGROUPオーナーシェフ鈴木将さん監修によるおにぎりとディップソース、桜川の酒粕を使用したお風呂で使える「世醸す」の酒粕に「ごり湯」の商品化について紹介がありました。

店頭に並んだ際には、ぜひお買い求めいただき、新たな取り組みを応援していただけたらと思います。

町では、引き続き白い森おぐにビジネス創出塾や白い森まるごと塾を開催し、小国町の優れた地域資源を活用した新しいビジネスや、町外の事業者や個人と連携したプロジェクトなど、町民の皆さんのチャレンジを応援していきます。

白い森News

雪国で自然を味わう！ 「食」文化ツアー開催！！

白い森おぐにをまるごと体験してもらいました！
3月13日から14日の2日間、雪国ならではの暮らしや食文化を味わってもらった体験ツアーが行われ、新潟県村上市と熊本県小国町に住む2人が参加しました。ツアーでは、「からこ」づくりやジビエ料理、スノートレッキングなどを体験してもらい、町の魅力を発信するとともに将来的な移住につなげていくこととしています。



▲からこづくり体験



▲一般社団法人YOKAMOS（よかもす）を設立した
鈴木将さん、井上昌樹さん、石井宏和さん

児童手当等制度のご案内

次の手当等には、それぞれ所得制限が設けられています。対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	出生から中学校修了前の児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は児童を養育しているかた。父・母が重度の障がい者である家庭。	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた（疾病による内部障がいも該当する場合があります）。
手当月額 R3.4現在	3歳未満15,000円 3歳以上小学校修了前 第1子・2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 一律 10,000円 特例給付一律 5,000円	小学生 2,000円 中学生 3,000円 高校生 3,500円	43,160～10,180円 加算額 2人目10,190～5,100円 3人目以降6,110～3,060円 ※所得、認定経過年数に応じて手当月額が変更になります。	1級 52,500円 2級 34,970円
支給期間	出生から中学校修了まで（申請月の翌月から支給）	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで（在学期間中のみ）	児童が満18歳に到達する年度末まで（一定の障害がある場合は20歳未満）	児童が満20歳に到達する月まで
支給月	6・10・2月	9・3月	5・7・9・11・1・3月	4・8・12月
現況届等	毎年6月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

スプレー缶や充電式電池の分別方法が変わります

ゴミ収集車やごみ処理施設における発火事故を防止するため、4月からスプレー缶や充電式電池の分別方法が変わります。

各項目の分別方法をご覧ください、ご協力をお願いします。

■スプレー缶 旧)「燃やせないごみ」

⇒新)「空き缶類」として、透明な袋にいれて資源ごみで回収することになりました。（他の空き缶類と同じ袋でも可能）※これまで同様、使い切って（中を空にして）穴を開けて出してください。

■充電式電池 旧)「購入した販売店の回収ボックス」

⇒新) 加熱式たばこ、充電式電気シェーバー、電動歯ブラシは、「有害ごみ」として回収可能になりました。※露出している金属端子部分にセロハンテープ等で絶縁して、「有害」と記載した透明な袋に入れて、不燃ごみの回収日に「有害ごみ」として出してください。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当（☎62-2260）へ



春の火災予防運動



「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

春の火災予防運動を4月9日(金)～22日(木)までの14日間実施します。期間中、午前7時と午後7時に防災ラジオにより、注意喚起が放送されます。また、11日(日)14時～16時まで消防団の消防ポンプ自動車が出動し、火災予防のため町内防火パレードを実施します。

空気が乾燥し、火災が発生しやすいため、火の取り扱いには十分注意しましょう。また、住宅用火災警報器は火災を早期発見し、火災による死傷者を減らします。動作確認、交換時期の確認をしましょう。

■問合せ先 町民税務課（☎62-2260）または
消防署小国分署（☎62-2154）へ

合併処理浄化槽の設置補助

■対象 町公共下水道認可区域外の住宅で、汲み取り便槽または単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に替える工事をする場合。

■補助金額 5人槽 40万円
6～7人槽 50万円

※単独処理浄化槽からの切り替えの場合は、一律8万円を加算します。また、リフォーム（新築以外）で設置する場合は県の上乗せ補助があります。

5人槽 20万8千円（上限）

6～7人槽 25万9千円（上限）

■その他 新築で合併処理浄化槽を設置する場合は補助要件があるので、お問合せください。

■問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

新型コロナウイルスワクチン接種情報

現在、町民の皆さんに安全かつ確実にワクチン接種ができるよう準備を進めています。

■ワクチンの効果と注意点

私たちがもつ体内の異物を攻撃する免疫の仕組みを利用して、新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスクの着用、3密の回避、手洗いなど）が必要です。

■ワクチン接種を受けるにあたり注意が必要なかた

下記にあてはまる人は、注意をしてください。

- ◇抗凝固療法を受けているかた、血小板減少症または凝固障害のあるかた
- ◇過去に免疫不全の診断を受けたかた、先天性免疫不全症の近親者がいるかた
- ◇心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のあるかた
- ◇過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでたかた
- ◇過去にけいれんを起こしたことがあるかた
- ◇ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こる恐れがあるかた

**該当するかたは、
必ずかかりつけ
医に相談してく
ださい。**

■妊婦、または妊娠している可能性があるかた、授乳中のかたは、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

■詳細については、4月中旬以降順次発送予定の接種の案内をご確認ください。

■問合先 健康福祉課地域保健担当
(☎0120-567442 (フリーダイヤル)) ハ

◇町立病院休診のお知らせ◇

新型コロナワクチンの医療従事者接種に伴い、次の期間の午後の一般外来を休診いたします。

■期間：4月7日(水)～9日(金)および27日(火)～30日(金)

■休診となる診療科：内科（上記の期間全て）、耳鼻いんこう科（4/7, 9, 28, 30）、眼科（4/27）
※なお、救急対応は行います。当日、体調不良などで受診を希望する場合は、受診前に電話（☎61-1111）でご相談ください。

愛犬に狂犬病予防注射を！

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けてください。

実施日	会 場	時 間
4月19日(月)	叶水基幹集落センター前	9:30～9:45
	白子沢警鐘台前	10:05～10:10
	沼沢駅前	10:20～10:30
	伊佐領会館前	10:40～10:55
	種沢ふれあいセンター	11:05～11:30
	宮の森会館前	13:30～14:00
	多目的屋内運動場「あいべ」駐車場	14:10～15:00
4月20日(火)	旧沖庭小学校前	9:30～9:55
	むつみ会館前	10:00～10:10
	旧あさひ保育園前	10:25～10:35
	りふれ駐車場	10:45～11:00
	旧小玉川小中学校前	12:55～13:05
	玉川高齢者コミュニティセンター前	13:25～13:35
	樽口観光わらび園管理所	13:50～14:00
	小国町役場東側駐車場	14:30～15:30

■持参するもの
集合注射料金3,300円（釣銭なし）、予防注射の問診表（記載の上）

■犬の登録について
犬を飼う場合は、町への登録が必要です。住所変更や死亡等があった場合は、事前に手続きをしてください。

■注意点
注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかたが連れてきてください。

■問合先
町民税務課町民生活担当
(☎62-2260) ハ



「自生山菜」の放射性物質に注意

これから「自生山菜」の発生時期を迎えるにあたり、次の事項に留意してください。

①「自生山菜」は、生育環境の違いにより放射性物質の濃度にばらつきがあるため、出荷前に検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には、「インターネット等による通信販売」も含まれますので、注意してください。

②特に「コシアブラ」は、過去に基準値を超える放射性物質が検出されていますので自主検査を徹底し、安全性を確認してください。

■問合先 農林水産部森林ノミクス推進課
木材産業振興担当（☎023-630-2525）へ
または 置賜総合支庁森林整備課
普及担当（☎0238-26-6065）へ

東京オリンピック2020

聖火リレー当日のボランティア募集

聖火リレーにボランティアとして参加してみませんか。東京オリンピック聖火リレーの実施にあたり、ボランティアを募集します。

- 日 時 6月6日(日) 9:00~14:00 (予定)
- 活動場所 長井市聖火リレーコース沿道
- 活動内容 沿道での走路確保及び観覧車誘導等
- 募集人数 30人程度
- 申込要件

①町内在住、在職、在学し、令和3年4月1日時点で高校生以上のかた（18歳未満のかたは、保護者の同意が必要です。）

②活動日時・場所での活動に支障がないかた

③長井市で開催する事前説明会（平日18時～予定）に参加できるかた

④電子メールでの連絡が可能なかた

■応募方法 申込書の提出または長井市ホームページからオンラインで申込ください。

■申込期限 5月7日(金)

■問合先

長井市総合政策課 オリンピックパラリンピック・文化スポーツ交流推進室（☎0238-87-0714）へ

コロナに負けないお店紹介 vol. 3

「コロナに負けないお店紹介」と題しシリーズで感染防止対策に取り組み営業する飲食店を紹介します。

※メニュー料金は1人前の金額（税込）です。

そば処 丸武（あけぼの）
電話 62-2457
■営業時間 11時30分～14時（火定休）
夜は予約のみ
店主より一言
テイクアウトメニュー以外にも夜の一品料理などもお作りします。ご相談ください。親子丼（550円）、鳥天丼（650円）など、そば屋の丼物をお楽しみください。



天丼（1人前）850円
鳥天 550円
鳥から（むね）550円
（写真は2人前と1.5人前）



海鮮丼1,200円
弁 当1,000円

旬彩 うを徳（栄町）

■電話

62-5883

■営業時間

17時～22時（日定休）

店主より一言

他にも、弁当（750円）、折詰弁当（1,500円）、刺身の盛り合わせや豚の角煮、コブサラダ（各550円2品で1,000円）もあります。ぜひ、ご賞味ください。（要予約・各品、数に限りがあります）

募集

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 2戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

4月12日(月)～4月16日(金)

■入居時期 5月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市)総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238-2412332)へ

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 1戸(4階)

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり

▽60歳以上で自立した生活を送ることができるかた(同居する配偶者または60歳以

上)の親族がいる必要があります。)

上の親族がいる必要があります。)

①～②共通

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期間 4月12日(月)

◎入居時期 5月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当(☎62-2431)へ

お知らせ

雇用相談室からのお知らせ

4月1日(木)より、開設時間を変更します。

■開設時間(平日・予約不要)

8時30分～17時15分

※これまで(火・金)は雇用相談員が常駐しておりましたが、4月1日以降は、すべての曜日で産業振興課職員が対応します。

■その他

相談希望のかたは、役場2階町民税務課窓口へお声がけください。

■問合先

産業振興課商工労政担当(☎62-2416)へ

令和3年度

乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。当日は、母子健康手帳を持参してください。

◇問合先 健康管理センター(☎61-1000)へ

■3・4カ月児健診 受付 13:10～13:20

■9・10カ月児健診 受付 13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	3・4カ月児	9・10カ月児
4月30日(金)	R2年12月、R3年1月生まれ	R2年6月、7月生まれ
7月2日(金)	R3年2月、3月生まれ	8月、9月生まれ
9月3日(金)	4月、5月生まれ	10月、11月生まれ
11月5日(金)	6月、7月生まれ	12月、R3年1月生まれ
1月7日(金)	8月、9月生まれ	2月、3月生まれ
3月4日(金)	10月、11月生まれ	4月、5月生まれ

■フッ素塗布 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診で希望されるかたに行います。そのほか、おおよそ2歳、3歳になるかたにもフッ素塗布を行っていますので、町ホームページをご確認ください。

■1歳6カ月児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
6月25日(金)	R1年10月、11月、12月
10月8日(金)	R2年2月、3月、4月、5月生まれ
2月4日(金)	R2年5月、6月、7月、8月生まれ

■2歳児歯科健診 受付 13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
6月30日(水)	H30年9月、10月、11月、12月生まれ
10月20日(水)	H31年1月、2月、3月、4月生まれ
2月16日(水)	R1年5月、6月、7月、8月生まれ

■3歳児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月2日(金)	H29年8月、9月、10月、11月生まれ
8月6日(金)	H29年12月、H30年1月、2月、3月生まれ
12月10日(金)	H30年4月、5月、6月、7月生まれ

4月の 保健カレンダー

4月の健診については、20ページに掲載している乳幼児健診の日程をご覧ください。

イベント中止情報

新型コロナウイルス感染拡大のため、下記イベントを中止としました。

◎令和2年度成人式（5月2日予定）

■問合せ 教育振興課
（☎62-2141）へ

総合センター図書から

～新着図書～ 休館日 毎週月曜日・祝日

◇推し、燃ゆ 宇佐見りん
◇元彼の遺言状 新川帆立
◇52ヘルツのクジラたち 町田そのこ
◇犬がいた季節 伊吹有喜
◇スマホ脳 アンデシュ・ハンセン

求人情報

右の表は3月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84-8609）へ

今月の納税 2021.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●4月26日(月) 水道料

●4月30日(金)

軽自動車税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ

町民税務課税政管理室
（62-2403）へ

子育て支援センターから

■4月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:30～11:30・13:00～15:30 (水・金は午後のみ)	不要
写真アート	4/12～5/7 【テーマ】5月の節句		不要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ 子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）

休日当番担当歯科医のお知らせ

4月4日(日)	南陽 加藤歯科医院（宮内）	0238-47-2216
4月11日(日)	米沢 もり歯科医院	0238-26-6406
4月18日(日)	米沢 万世歯科クリニック	0238-28-0820
4月25日(日)	川西 ふなやま歯科医院	0238-42-3057
4月29日(木)	長井 松下歯科医院	0238-87-0878
5月2日(日)	南陽 村越歯科医院	0238-40-3295
5月3日(月)	南陽 さくら歯科クリニック	0238-27-8241
5月4日(火)	米沢 中川デンタルクリニック	0238-37-3311
5月5日(水)	白鷹 佐藤歯科医院	0238-85-2422

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)アウトソーシング庄内営業所	(派) シリコン製品の製造、機械操作	3人	8:20～16:50他
(株)STAY（介護付き有料老人ホームこもれびの里）	有料老人ホームにおける介護職	2人	6:30～15:30他
(株)ツルハ（ツルハドラッグ）	登録販売者（ツルハドラッグ小国店）	2人	8:30～22:30 の間の8時間程度
(有)豊嶋石英硝子	石英硝子の加工	2人	8:30～17:00
長谷川工業(株)	加工スタッフ（カーボン）	1人	8:30～17:00
	加工スタッフ（S i C）	1人	
おぐに白い森(株)	応接員	2人	6:30～16:00他
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00～17:00
	一般作業員	2人	
	ダンプ・重機運転士	1人	
(株)横川建設	現場管理（1級又は2級土木施工管理技士）	1人	8:00～17:00
	作業員	2人	
	重機オペレーター見習い	2人	
(株)野沢酒造店	営業兼清酒製造業務	1人	8:05～17:20他
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00～17:00
ハイコー(株)	電気工事（見習い可）	3人	8:00～17:00
置賜教育事務所	（臨）常勤講師（小学校）	4人	8:20～16:50
(株)旭林業	林業技術士、大型運転手	2人	8:00～17:00
(株)山芳工務店	電気設備工（見習い）	3人	9:00～18:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
	重機オペレーター	1人	
	一般作業員	2人	
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00～17:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax62-5464
 ●総務課 ☎ 62-2112
 ●観光経済室 ☎ 62-2416
 ●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
 ●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
 ●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
 ●国保医療担当 ☎ 62-2261
 ●建設技術室 ☎ 62-2432
 ●会計室 ☎ 62-2406
 ●農林振興室 ☎ 62-2408
 ●税政管理室 ☎ 62-2403
 ●議会事務局 ☎ 62-2448



戸籍のまど

(2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

岩井 沢 高 橋 真 冬 (聖 和美)

岩井 沢 高 橋 菜 々 (史 記恵)

結婚おめでとうございます。

(緑 町 齋 藤 彰 人
東 原 佐 藤 かりん)

(杉 沢 ド ヴァン フォン
杉 沢 佐 藤 友 香)

おくやみ申し上げます。

岩井 沢 横 山 菊 子 (88)

田 沢 頭 本 間 ヨ シ イ (93)

綱木 箱口 鈴 木 ミ チ 子 (84)

荒 沢 山 崎 三 男 (84)

若 山 田 島 善 吉 (88)

増 岡 大 谷 栄 子 (62)

岩井 沢 今 和 昭 (57)

緑 町 河 内 昭 佐 (77)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和3年2月28日現在)

人口 男・・・3,613人 (－ 6)
 女・・・3,619人 (－ 7)
 計・・・7,232人 (－ 13)
 世帯数 3,024世帯 (－ 3)

編集後記

令和3年度がスタートしました。私も広報担当2年目に突入です。今年度は、様々なイベントで皆さまにお会いしようと思いましたが、新型コロナウイルス感染者の急激な増加を受け、令和2年度の成人式や熊まつりの中止が決まってしまうという状況は、大変難しく、明るい話題を誌面で届けていくことが難しくなっています。是非、皆さんが取り組んでいることや地域での活動などがあごりましたら、広報担当までご一報ください！(仁科)

「ポイント納税」の廃止について

平成25年7月より、固定資産税、町県民税、国民健康保険税、軽自動車税の納付の際に、小国町内加盟店共通のポイントカード「オーカード」に貯まったポイントによる納税を受け付けておりましたが、令和3年3月31日(水)をもってこの手続きを廃止いたします。

ご利用いただきありがとうございました。

なお、その他の納税方法に変更はございません。

※その他の納税方法に関しては、町民税務課収納担当へご相談ください。

■問合先 産業振興課商工労政担当
 (☎62-2416) へ

千代田クリーンセンター 「くりえいと工房」再生品の提供

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示及び無償提供を行っています。

■提供品 自転車10台、家具類5点 (各回予定数)

■応募方法

千代田クリーンセンターに備え付けの申込用紙により応募してください。応募する際に身分証明書が必要となります。複数応募があった場合、抽選により当選者を決定します。

■時 間 9:00～16:00 (日)・(祝を除く)

	展示期間	公開抽選 ※午前10時
第1回	4月7日(水)～5月8日(土)	5月11日(火)
第2回	6月2日(水)～7月3日(土)	7月6日(火)
第3回	8月4日(水)～9月4日(土)	9月7日(火)
第4回	10月6日(水)～12月4日(土)	12月7日(火)

■料 金 無料

■その他

新型コロナウイルス感染症の状況により日程等を変更する場合があります。

■問合先 千代田クリーンセンター
 (☎0238-57-4004) へ

ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 22



②「白い森交流センターりふれ・わらび山からの飯豊連峰」

動物の足跡探しやけつつ滑りを楽しむため、白い森交流センターりふれのわらび山に登ると、その上空には、雲一つない青空が広がっていました。そこから町内南部方面に目を向けると、まだまだ大量の雪を蓄えた飯豊連峰がくっきり見えています。気象条件に恵まれることで姿を現す、最高の景色が見える場所が小国町内には数多くあります。ぜひ、足を運びお気に入りの景色を探してみてください。